

# 平成29年度 市民意見交換会 実施結果

## 1. 目的

帯広市議会基本条例第5条第5項の規定に基づき、議会が有している情報を市民の皆様積極的に公開し、説明責任を十分に果たすとともに、市民の皆様からいただいたご意見・ご要望を広く聴き、議会内での議論、政策形成に反映させるため、「市民意見交換会」を開催しました。

### ◇ 地域意見交換会

市民の皆様が自由に議会に対してご意見・ご要望を述べていただける機会を設け、いただいたご意見を議会論議に反映させるため、コミセン等において意見交換を行いました。

### ◇ お出かけ意見交換会

広く様々な層の市民の皆様から意見を聴取するため、子育て世代や若者など一定の層が集まる団体・グループの会合等に市議会議員が赴き、特定分野のテーマを設けず、広く市政全般を対象に意見交換を行いました。

## 2. 開催日時・会場・参加者数

	月 日		時間	会 場	男	女	計
地域意見交換会	平成29年11月17日	金	19:00～	西帯広コミュニティセンター	17	2	19
	平成29年11月18日	土	14:00～	鉄南コミュニティセンター	11	1	12
			19:00～	帯広の森コミュニティセンター	8	0	8
	平成29年11月19日	日	14:00～	大正農業者トレーニングセンター	15	1	16
			19:00～	啓北コミュニティセンター	7	0	7
	小 計					58	4
お出かけ意見交換会	平成30年1月20日	土	10:00～	とまちプラザ1階大集会室 (市内高等学校の生徒)	10	9	19
	平成30年1月23日	火	19:00～	帯広市役所議会棟3階全員協議会室 (帯広市PTA連合会)	8	2	10
	小 計					18	11
合 計					76	15	91

## 3. 市民の皆様からお寄せいただいたご意見・ご質問要旨

- ◇ 地域意見交換会 (P1～P6)
- ◇ お出かけ意見交換会 (P7～P10)

## 4. お寄せいただいたご意見の取扱いについて

お寄せいただいたご意見は全議員で共有し、各議員がそれぞれの判断の下で議員活動に活かしていくとともに、市の担当部局にも伝えます。なお、議会に関してお寄せいただいたご意見は、今後の議会運営の参考とさせていただきます。

## 「帯広市議会 市民意見交換会」における市民からの意見・質問要旨

### ◎地域意見交換会

※「市民からの意見・質問要旨」中、（ ）内は、意見交換会の会場名

- ・西帯広 → 西帯広コミセン
- ・鉄南 → 鉄南コミセン
- ・啓北 → 啓北コミセン
- ・帯広の森 → 帯広の森コミセン
- ・大正 → 大正農業者トレーニングセンター

項目	市民からの意見・質問要旨	
1. がん (予防)	①	検討中の条例の中には、受動喫煙対策も盛り込まれる予定か。(西帯広)
	②	健康診断について、アンケート調査を行ってはどうか。アンケートは、①既に受診している方、②受診していない方に分け、①では受診に至ったきっかけ・より受診しやすい方法など、②では受診しない理由などの意見聴取としてはどうか。 病気の予防や早期発見ができれば、本人の健康維持はもとより、医療費の削減にもつながる。健康診断の受診率を上げる取組みにぜひ力を入れてほしい。(鉄南)
	③	健康診断は働いている人のために、土曜日の午後や日曜日にどこの病院でも受診できるようにし、その受診結果は病院間で共有して、セカンドオピニオンも受けられるようにしてほしい。がん条例の制定に期待しているので、今後も市民目線で取り組んでほしい。(鉄南)
	④	早期発見は重要だが、派遣社員は生活困窮から医療保険に未加入の人が多。派遣事業者が派遣社員に健康診断を受けさせるような仕組みづくりをしてほしい。(帯広の森)
	⑤	がん対策は早期発見が重要と考える。早期発見により医療費も抑えられる。がん検診の受診率を高めるため、町内会や老人会など団体での受診機会の確保や助成金の支給を行ってはどうか。町内会加入のきっかけにもなるかもしれない。(大正)
	⑥	市における若年者の各種検診の受診率向上への取組みは。(啓北)
(治療)	①	年金受給額が少ない高齢者は、体の異変を感じても金銭的な理由から医療機関を受診できず、受診した時にはもう手遅れというケースが少なくないと聞く。そのような低所得者が必要な医療を受けるために、市ではどのような支援をしているか。(西帯広)
	②	がんは治療費が高い。帯広市は女性特有がんが多いとのことだが、シングルマザーも多いと感じる。相談制度と併せて治療費の貸付金制度などがあればよい。(大正)
(ケア)	①	家族ががんになった際、相談体制がしっかりしていたため、よく相談した上で、納得のいく終末期を送らせてあげることができた。気軽になんでも相談できる窓口の充実に努めてほしい。(西帯広)
	②	がんサミット2017に参加した際、子育て中のがん患者から、抗がん剤治療で十分な子育てができないつらさや、子育てをしていくための生活費や医療費の支援を求める声が出ていた。そのような声も参考に、目に見える形で、条例の制定作業を進めてほしい。(西帯広)
	③	相談支援だけでなく、高額医療に対する金銭面などの支援をしていただきたい。また、どこの病院に行けばどの種類のがんが治療できるかなど、情報提供の充実をがん条例で謳ってほしい。(鉄南)
	④	妻がステージ4と診断された時の市の介護認定と身障者認定にかかる対応が遅すぎる。(鉄南)

項目	市民からの意見・質問要旨
	⑤ 緩和ケアについて専門的な知識を持った看護師を増やしてほしい。緩和ケアにより、患者だけでなく、家族も助かることが多い。(帯広の森)
	⑥ 地域コミュニティを充実させて、がんについて地域内で相談できるようにしてほしい。(帯広の森)
	⑦ がん罹患後に自宅から出なくなってしまった人やその家族が集まれるサロンを設置するなど精神的なケアを受けられる場を増やしてほしい。(大正)
(その他)	① 活動状況を聞いたが、一般的に言われていることを並べただけで、議員としての具体的な活動内容が伝わらないため、内容が薄い。このような内容なら、やらない方がよいのではないかと。(西帯広)
	② 資料には議会としての考え方の記載がなく、内容も一般的であるため中身がないと感じる。必要性を感じない。(啓北)
	③ がん対策は、健康診断の受診率の向上、医療の充実がすべてであると考えている。(鉄南)
	④ がん対策と並行して具体的な少子化対策をしてほしい。20～39歳の女性人口を増やすことが有効な少子化対策になると考えている。(鉄南)
	⑤ 妻が「がんではない」と診断され続け、がんの罹患が発覚した時は、ステージ4だった。がんで亡くなった患者の家族や患者会の意見を聞いてほしい。(鉄南)
	⑥ 条例が制定された場合、がんに関する情報提供を充実させてほしい。(帯広の森)
	⑦ SMR(標準化死亡比)について、胃がんの治療で入院されていた方が心筋梗塞で亡くなった場合はどのようにカウントされるのか。(大正)
	⑧ なぜ議会でがん対策の条例化を目指しているのか。これまでの市や国の取組みと何が違うのか。(大正)
	⑨ 議員政策研究会のこれまでの活動経過は。また、今後の市民意見聴取や条例化への想定スケジュールは。(大正)
	⑩ がん対策を議論するにあたり、医療関係者などの専門家が議員政策研究会に参加することも必要と考えるが、今後の参加見込みは。(大正)
	⑪ 今回の市民意見交換会とは別に一般市民や専門家からの意見聴取の機会はあるのか。アンケートやパブリックコメントの予定は。(啓北)

項目	市民からの意見・質問要旨	
2. 議会 (意見交換会)	①	意見交換会は、市民意見を施策に反映させるため開催しているとのことだが、どのように反映されているかが見えない。昨年も、自転車を通ることのできる歩道を増やしてほしいという意見や排雪場所を確保してほしいという意見を出したが、それらはどうなったか。(西帯広)
	②	市民と議員が個々に話す場がない。浦幌町のように、普段から市民と接していればこの意見交換会は必要ないのではないか。また、意見交換会は、もっと広く市民が参加できる方法を考えてほしい。(帯広の森)
	③	市民意見交換会における意見・要望等への対応状況は。公表する考えはないのか。(啓北)
(議会だより)	①	議会だよりは、現在広報おびひろに折り込んで配付しているが、町内会未加入世帯など、未配付世帯があることから、議会だより独自のよりきめ細かな配付方法を検討してほしい。(西帯広)
	②	議会だよりを重宝している。今後も引き続き発行してほしい。(大正)
(議員報酬)	①	議員報酬は、議員活動をしている対価としてもらうもの。議員活動をできない議員が報酬をもらうべきではない。市民感情への配慮が足りない。(帯広の森)
	②	私の同僚は病気になった時、会社に迷惑をかけると自主退職し、治療後に再雇用してもらうことになっている。議員報酬は市民感情と離れているのではないか。政務活動費も出ている以上、一旦辞職し、報酬も返納すべき。(帯広の森)
	③	議会だよりには議員の賛否などにより出欠状況がわかるが、欠席議員に対する市税からの報酬支給に疑問を感じる。議会としてどう思っているのか。減額規定などを定めてはどうか。(大正)
(その他)	①	議会・議員は、市民福祉の向上のため活動する必要があると考える。市民福祉の向上につながるよう、他の自治体からも参考にされるような議会運営に努めてほしい。(西帯広)
	②	芽室町議会では文書質問を実施している。閉会中も質問できるよう文書質問の導入を検討してほしい。(帯広の森)
	③	議員が1名いなくても何も支障がないのであれば、議員定数を1名減らして市民税を安くしてもらいたい。(帯広の森)
	④	議員は市民のために、生活保護費の不正受給など難しい問題の解決に向けてしっかりと取り組んでほしい。(啓北)
	⑤	議会費の予算規模は。(啓北)
	⑥	議会と行政の違いは。(啓北)
	⑦	議会は予算がなければ仕事ができないのか。(啓北)
3. 地域コミュニティ	①	自分が所属している町内会では、毎年1月に総会を開催しているが、各町内会の実態や抱える課題を把握するため、議員が総会に参加してほしい。(西帯広)
	②	昨年の台風で、近隣町内会で共用している会館の屋根が破損し、修理に多額の費用がかかり、会館の維持管理用の積立金もほとんどなくなってしまった。町内会で利用している施設が災害などで破損した場合は、修繕に対して市が支援してほしい。(西帯広)
	③	公共施設マネジメントを核に、エリアごとの地域コミュニティを充実させる方法を検討してほしい。子育てやがんについても、地域内で相談できるよう地域コミュニティを充実できないか。(帯広の森)
	④	若い人が町内会に加入しないことを、条例制定により解決できないか。町内会では地域防災を未加入者の分まで押し付けられている。(帯広の森)

項目	市民からの意見・質問要旨
4. 中心市街地再開発	<p>① 西3・9のイトーヨーカドー跡地の再開発事業への補助金支出は、きちんと市民に理解してもらう必要があるが、説明する立場であるはずの議員は、事業内容を正確に把握しているのか。今後、全体の事業費が膨らんでいく懸念もあるが、その場合、事業費に比例し、市の補助額も上がっていくのか。(西帯広)</p> <p>② 西3・9のイトーヨーカドー跡地の再開発事業は、学校の適正配置の検討や人口の社会動態にも影響があると考え。学校の適正配置は、同事業を考慮に入れているのか。また、近年の帯広市の社会動態のプラスマイナスはどの程度か。(西帯広)</p> <p>③ 人口減少が見込まれる厳しい社会情勢の中、行政運営を行っていく上では、政策効果をしっかりと見極め、事業を実施することが重要。イトーヨーカドー跡地の再開発事業においても、しっかりと効果・メリットを見極めながら、適切な判断をしてほしい。(西帯広)</p> <p>④ イトーヨーカドー跡地の再開発事業は、市民への影響も大きいことから、市民と情報共有を図りながら事業を進めることが重要。そのため、積極的に活字による情報発信も行ってほしい。(西帯広)</p> <p>⑤ 現在の分譲マンションの成約率は、全国的に見ても、高い地域で68%程度、それ以外は50%を切るところも多い。また、経済状況は、本州に比べると帯広はあまりよくない。イトーヨーカドー跡地の再開発事業については、そのようなことも考慮に入れた上で、綿密な議論を行いながら、是非を判断してほしい。(西帯広)</p> <p>⑥ 西3・9の再開発事業に巨額の市費が投入されるが、将来的なことを考えるとインフラ整備など、他の事業に予算を投じるべきではないか。(啓北)</p> <p>⑦ 西2・9の北洋銀行跡地の再開発事業には、すでに多額の市税が投入されているが、先日、スケートリンクとして活用されるという新聞記事を見て、大変驚いた。市議会として再開発事業が進まない状況をどう捉えているのか。(西帯広)</p>
5. 介護・高齢者	<p>① ダブルケアに関して、市はこれまでどのような対策をし、今後どのような対策を検討しているのか。(鉄南)</p> <p>② 高齢者・障害者施設における入所者への虐待について、市は実態をどのように把握し、対策をしているのか。入所者の家族は、虐待を知っていても施設に受け入れてもらっている関係から、直接言えない。(鉄南)</p> <p>③ 高齢者・障害者施設に対し、家族からの意見を言えるよう家族会を立ち上げ、関連施設にも広めていったが、家族会の活動に賛同しない施設があり、虐待がなくなるのが実態である。施設職員の心のケア、金銭面などのサポートをしなければ虐待はなくなる。議員には施設へ足を運んでほしい。(鉄南)</p> <p>④ 車に乗らなくなった高齢者などの買物弱者対策のために大型車などを活用し、スーパーなどを回る定期便を運行してほしい。(大正)</p>
6. 健康	<p>① 若者の自殺対策で、長野県がSNSを活用する取組みを行っている。市の若者の自殺対策の現状はどうなっているのか。(帯広の森)</p> <p>② 若者のギャンブル依存症への市の対策、または、その検討状況は。(帯広の森)</p>
7. ごみ収集	<p>① 帯広のごみステーションは、カラスに荒らされている箇所が散見されるが、音更町は戸別収集をしているためそれが無い。議会費を削り、その分の予算でゴミの戸別収集を行ってほしい。(西帯広)</p> <p>② 燃えるごみの飛散対策について、議員有志の研究会を立ち上げるなどして、対策強化してほしい。(西帯広)</p>

項目	市民からの意見・質問要旨
8. 学校教育	<p>① 小中学校の適正規模・適正配置の地域説明会に参加して意見を述べたが、教職員の充実や都市計画の関係する部分については、意見が反映されなかった。教職員の充実のために、市が独自で費用負担すべき。 また、都市部のみ都市計画税が賦課されていることから、学校の適正規模・適正配置を検討する際は、都市部と農村部は分けて考えるべき。(西帯広)</p> <p>② 小中学校の30人学級や複数学級の実現に向けて、児童数の将来推計などをもとに、議員自らがどんな政策が必要か考え、積極的に提案して欲しい。(西帯広)</p> <p>③ 西帯広地区は、工業団地があり、交通の便もよいほか、新エネルギー導入や環境リサイクル施設が集積するなど、まちづくりにおいても重要な役割を果たしていることから、西帯広の小中学校を残すため、必要な政策を議員から提案して欲しい。参考にするだけでなく、議員自らが提案するという姿勢を持って欲しい。(西帯広)</p> <p>④ 小中学校の適正配置に関し、小規模校が大規模校に統合されるだけでは意味がない。義務教育であるため難しい部分があるとは思いますが、全道から注目されるような特色のある学校づくりを進め、そこに子どもが集まるようになってほしい。(啓北)</p> <p>⑤ 中学校入学時には、制服代など、いつときに多額の準備金がかかるが、直前にしか必要額が周知されないため、お金を準備するのが大変という話を聞く。保護者負担の軽減のため、ホームページや学校だよりなどで、事前周知に努めてほしい。(西帯広)</p> <p>⑥ 高校では、入学準備金や通学費など多額の費用がかかるが、義務教育とは違い、就学援助などの支援もないため、保護者負担が重いと聞く。鹿追町では、鹿追高校の生徒への支援を行っていることから、それも参考に、帯広市独自の支援を検討してほしい。(西帯広)</p> <p>⑦ 先日、家庭内暴力や親の病気などで学校に行けない、親から教育されず、義務教育終了後も字の読み書きができない子どもがいるとの報道があった。市内でも同様の子どもがいると考えているが、これらをどのように捉えているのか。(鉄南)</p> <p>⑧ 十勝管外へ進学する高校生へどのような支援をしているのか。(帯広の森)</p> <p>⑨ 今年度の予算に計上されている教材備品の整備とは、どのような内容か。(啓北)</p> <p>⑩ 小中学校の図書整備を進めてほしい。(啓北)</p> <p>⑪ 学校司書配置に向けて議論してほしい。(啓北)</p>
9. 札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致	<p>① スケート会場の候補地に、明治北海道十勝オーバルが挙がっているが、オリンピック会場になると、相応の費用負担も出てくる。負担ができるほど、市の財政は潤沢なのか疑問である。(西帯広)</p> <p>② 札幌市は、明治北海道十勝オーバルの利用を検討していくとしているが、観客席の改修には多額の費用がかかるのではないかと。費用の抑制など、市は早めに対応してほしい。(鉄南)</p> <p>③ 市で競技の実施が決定した場合、宿泊施設が不足するため、増やす必要があるのではないかと。(鉄南)</p>
10. 道路・街路樹	<p>① 冬期は街路樹の陰が路面凍結して危険である。市は危険箇所の把握と街路樹の管理をしっかり行い、危険防止策を講じてほしい。(鉄南)</p> <p>② 冬期に街路樹の陰になり路面凍結して危険な場所がある。市は専門家の意見を聞いて樹木を植えてほしい。(帯広の森)</p>

項目	市民からの意見・質問要旨	
11. 住まい	①	大空町1丁目10で旧市営住宅「空」のあと、「光」の駐車場の近くに市営住宅を建設中であるが、建物と道路の距離がなく冬場の除雪が大変なのではないか。除雪側と建てる側の連携ができていない。市営住宅敷地内の道路は、市道なのかそれとも私道なのか。（帯広の森）
	②	若年者は収入に占める家賃負担の割合が高く、生活が苦しい世帯も多い。若年者向けの住宅政策への考えは。（啓北）
	③	空き家戸数の実態は。空き家対策事業に対しどのような議論がされているのか。（啓北）
12. 労政	①	建設業界は人手不足だが、賃金が安く、若い人材が集まらない。行政としてどのような支援が考えられるのか。（帯広の森）
	②	いわゆるブラックバイト問題を抱えている高校生の状況を把握しているのか。（啓北）
13. 選挙	①	LGBTの方から、投票の受付時に外見と名簿の性別が異なることで本人確認され、さらに用紙交付時にも性別確認されたため、後続の市民に戸籍上の性別が知られて苦痛だったと聞いた。周囲に知られないよう配慮してほしい。（鉄南）
	②	短期間で構わないので、川西支所と大正支所に期日前投票所を設置してほしい。（大正）
14. 市職員	①	市職員の市外居住により、多くの住民税が市外に流出している。市は市内居住を採用条件とするなど、対策を講じてほしい。（鉄南）
15. 農業	①	昨年の台風により農地被害を受けたが、様々な機関の支援により農家負担なしで復旧がなされた。しかし、秋頃の雨により畑がぬかるみ状態になりトラクターなどが入れる状況になく、土地の高低差などの条件により明渠や暗渠による排水作業などの対応もとれない。このまま畑に入れず種を蒔けなければ補償制度の対象にもならないため収入がなくなり、離農の可能性も出てくる。市に相談をしているが、来春から農作業ができるよう議会としても要望してほしい。（大正）
16. ばんえい競馬	①	ばんえい競馬はいつかやめる時期が来ると考えている。収支をしっかりと見通して経営してほしい。やめる場合は市民負担が生じるのではないか。（帯広の森）
17. 交通安全	①	信号の設置について、公安委員会と自治体が対等に協議できる制度にしてほしい。（鉄南）
18. 行政全般	①	8月31日にとまち市民オンブズマンの会が、市に、情報公開請求の際は文書を電子データで提供するよう要望し、市は、他の自治体より遅れている認識があるため、どのような形で提供できるか検討していくと回答した旨の報道があった。現制度では、複写料を徴収しているが、複数枚にわたって請求するため負担が大きく、CD-ROMなどでデータを提供できるようになれば安価で済む。現在の検討状況は。（帯広の森）
	②	市主催の会議において、市政の問題を解決しようと、出席者が新たな事業提案を行うことがあるが、市からは「予算がない」と回答をされる。そのような回答では提案する気持ちが削がれる。（啓北）
	③	現在、市の予算に占める民生費の割合が高く、財政が硬直化していることも認識しているが、生活保護費の不正受給問題などもあることから、民生費の予算もしっかりとチェックしていただき、市民全体の利益になるような事業が行われるように議論してほしい。（啓北）
	④	市内の子どもの貧困率調査について、昨年度提出された陳情が趣旨採択となったがその後の状況は。また、昨年度実施したひとり親家庭等アンケート結果の活用状況は。（啓北）

## ◎お出かけ意見交換会（市内高等学校の生徒）

※意見交換は、4テーブルに分かれワークショップ方式で実施

※「意見・質問要旨」中、（ ）内は、テーブルの番号

（1）→南商、（2）→工業、（3）→北、（4）→農業・大谷

### 【市議会議員に対する素朴な疑問】

項目	意見・質問要旨
1. 議会	1 議員報酬はどれくらいか。（1）
	2 南商業高校との交流はあるか。（1）
	3 議会のペーパーレス化とは。（1）
	4 市議会や議員がどのような活動をしているか、あまり伝わってこないの で、SNSなどを通じて、より幅広い周知ができないか。（1）
	5 定例会の会議時間は。また、代表・一般質問でどのようなことを聞くの か。（2）
	6 議長・副議長をどのように選ぶのか。（2）
	7 議会改革として検討している4つの取組み以外に検討予定はあるのか。 （2）
	8 会議の主な内容は。（3）
	9 国等へどんな意見書を提出しているのか。（4）
2. 議員	1 議員に必要な資質は。（1）
	2 議員になるには、特別な資格などが必要か。（1・2）
	3 議会がない日はどのような活動をしているか。休日はどれくらいあるか。 （1・2・3・4）
	4 議員になろうと思ったきっかけは。また、決意したのはいつ頃か。（1・ 2・3）
	5 部活動は何をしていたか。（1）
	6 趣味は何か。（1）
	7 今までで一番苦労したことは。（1・2・3・4）
	8 市議会議員になるのは難しいか。（1）
	9 どんな時にやりがい・喜びを感じるか。（1）
	10 議員同士は仲が良いか。お互い話をすることはあるか。（1）
	11 議員以外の職にも就いている人は、どれくらいいるか。（1）
	12 議員になる際の家族や友人などの反応は。（2）
	13 調査はどのように行うのか。（2）
	14 普段はどんなことをしているのか。（3）
	15 他市との意見交換や情報収集を行っているのか。（3）
	16 議員になって良かったことは。（3）
	17 議員として目標はあるのか。（4）
	18 議員になる前は、どんな仕事をしていたのか。（4）
	19 男女の割合はどうなっているのか。（4）
3. その他	1 否決された予算はなくなってしまうのか。（2）
	2 予算はどのようなことに多く使われるのか。（2）
	3 予算は赤字になることがあるのか。（2）
	4 帯広市の好きなのは。（3）
	5 高校生に対してどんなイメージを持ち、どんなことを期待しているのか。 （4）



【まちづくりへの意見・要望】

項目	意見・質問要旨
1. 中心市街地	1 百貨店が残っているところが良い。(1) 2 中心街が発展していると感じる。(2) 3 広小路はシャッター街のように感じる。(2) 4 旧イトーヨーカドービルは今後どのようになるのか。(2) 5 中心街で閉店した店の跡地が駐車場になることが多いと感じるが小売店や飲食店も増えてほしい。(2)
2. 商業施設・公共施設等	1 体育館や自習ができる環境などを充実させてほしい。(1) 2 以前は中心市街地に商業施設が集中していたが、今は郊外に散らばっており、学生にとって利用しづらいので、何か対策ができないか。(1) 3 家の近くにコンビニがない。(2) 4 若者が大都市へ流出しないようにレジャー施設や娯楽施設を増やしてほしい。(2) 5 大型スーパーや大型商業施設を増やしてほしい。(2・3) 6 スポーツ施設など遊ぶ場所が少ない。(2) 7 運動施設を増やしてほしい。特に、テニスコートが家の近づくなく、また、既存のコートは非常に混み合っている。(3)
3. 道路・除雪	1 除雪をもう少ししっかりできないか。(1・3) 2 大正地区の一部では登校する時に除雪されていない道がある。(2) 3 住宅街付近の歩道の除雪・砕氷をしてほしい。(2) 4 自転車通学をしているが、通学路の道幅が狭く、ごみが置いてあると危険を感じる。(3) 5 通学路の路面状況が悪く冬道は怖いので、道路整備をしてほしい。また、除雪が遅いと言われていることについて、どう思うか。(4)
4. 交通	1 南北方向や帰りの時間にバス路線がなく不便。バス路線の充実ができないのか。(1・2・3・4)
5. 学校	1 以前は学園祭で仮装パレードをしていたが、現在行われていないため、再開を望んでいる。(1) 2 私立高校の授業料を助成してほしい。(3) 3 肉じゃがは美味しいが、給食は他町村に比べて劣っていると思う。(4) 4 肉じゃがなど、給食を食べたくなる時がある。(4) 5 進学先が限られている。(4)
6. 公園・自然	1 緑や公園、自然などが多くあって良い。(1) 2 公園遊具の老朽化が進み、利用できる遊具が減っており、子どもの運動不足などにつながる懸念があるが、何か対策ができないか。(1) 3 帯広は自然が多くてよい。(2) 4 災害への対策は。(4) 5 水がおいしい。(4)
7. その他	1 帯広市は、今後どうなっていけば良いと思うか。(1) 2 私が住む大正地区は、人口が減少しており不便を感じる。(2) 3 ウィンタースポーツが充実してほしい。(2) 4 中高生が楽しめるイベントを増やしてほしい。(3) 5 清水町は高校生まで医療費が無料なのに、市はなぜ無料ではないのか。(4) 6 まちの過疎化や高齢化が心配。(4)

◎お出かけ意見交換会（帯広市PTA連合会）

項目	意見・質問要旨
1. 小中学校の適正配置	<p>市は、小中学校適正規模の確保等に関する計画の作成に向け、現在、前期対象校の選定作業等を行っている。</p> <p>① 帯広市PTA連合会では、昨年の10、11月に行われた保護者・地域説明会に三役が出席したほか、検討が必要な学校や近隣校のPTAに参加を促したところ。各校に温度差があるため、何が良い悪いということではないが、「子どもにストレスとならない」という観点が重要と考えているので、市にも伝えてほしい。</p> <p>② 私の学校は保護者・地域説明会を3度開催してもらったが、人が集まらず、保護者や地域住民は現状を理解していないと思う。このままでは、気がついた時には統廃合という話になりかねないので、教育委員会からこまめに情報提供してもらいたい。</p> <p>③ 統廃合ありきではないとのことだが、議会が提出した「30人以下学級の実現をめざす意見書」が実現すれば、学校規模の問題解消や教職員の負担軽減に繋がると思う。また、当該校だけでなく、近隣校にも関係あることなので、情報提供してほしい。</p>
2. 中学生の医療費無料化	<p>① 管内町村や旭川市、函館市などで実施されていると聞くと、市の考え方が知りたい。</p> <p>② 国で制度化することが最善と考えているが、それまでの間、市で実施してもらえると有り難い。義務教育期間中は分け隔てなく全員が無料化されることが理想であり、国等へ意見してほしい。</p>
3. 給食費無償化	<p>① 日本の冠たる食料基地である帯広・十勝において、給食を通じて行っている食育を見直す時期ではないかと考えている。次期学習指導要領では「社会や人生を切り拓く資質・能力を子ども達に身に付けさせる」との指針が出ており、帯広・十勝では、食料と産業の繋がりなどを教えることにより、子ども達が地域の魅力を学べるのではないかと。給食費を受益者負担とする考え方は大切で、原則論としては賛成だが、そこに捉われ過ぎると一食当たり幾らというコストパフォーマンスの話になるため、給食の魅力が乏しくなると思う。また、献立についても、十勝は食料が豊富で若年性糖尿病が最も多い地域と聞いているので、これらを踏まえたメニューの充実・工夫をお願いしたい。</p> <p>② 教員は給食費の徴収に多くの時間を費やし、現金の取扱いに神経を使っている。無償化は、教職員の負担軽減や子育て世帯の移住促進にも繋がるのではないかと。</p>
4. 過熱する部活動・少年団活動	<p>① スポーツで勝利することは、子ども達が達成感や努力することの大切さを学ぶことができる一方、指導者の過剰な勝利主義により、練習内容や時間がエスカレートするとともに、プレーへの指示ではなく罵倒のような場面も目にする。団体競技は、協調性や団体行動の必要性を学習できる良い機会だが、子どもの人格を否定する言葉や威圧的な態度で接することは、教育上好ましくない。親として、子どもの学力低下も気になる場所であり、文武両道となる市の取り組みに期待している。</p> <p>② スポーツ協会は競技を指導する資格を持つが、教育の資格は有しておらず、仮にいじめがあっても対応するノウハウを持っていない。部活動の過剰な勝利至上主義の事例として、部活動中に眼鏡が壊れても購入して戻れ、怪我をしても見学しろという話を聞いたことがある。</p> <p>③ 部活動指導員制度には、メリット・デメリットがあるが、導入することはできそうなのか。</p>

5. 先生の時間外勤務等	<p>① 市の教育委員会でも解決できることがあるのではないかと考えている。約2年前から、教員に1人1台のパソコンが当たるようになったが、社会でIOTやグループウェアの活用が進む中、教育現場は相当遅れていると思う。また、現場では校長の決裁が必要となる依頼文や報告書の作成などの事務作業に相当の時間を費やしている。</p> <p>地域連携や非常勤の導入など細かな対策は行われているが、本丸である業務配分の見直しを行われなければ、学力向上の取組みに繋がらず、例えば、教育基本計画などの成果指標である教職員一人当たりの研修受講回数は、業務時間短縮のために減らす方法もあるのではないかと考えている。</p>
	<p>② 教員は些細なことにもストレスを感じている。例えば、市のプールを利用する際、学校と一般利用について、教育委員会と施設との間で上手く調整されないことがあると聞いた。また、暖房予算が足りないとも聞くので、検討してほしい。</p>
	<p>③ 先生のストレスは子ども達のストレスに直結するので、引き続き、国等への意見書提出をお願いしたい。</p>
6. 学校施設の老朽化対策	<p>① 学校施設は老朽化が進んでいる。改修等には多額の費用を要し、適正配置との関係性も承知しているが、各校の現状を調査しながら、学びやすい環境づくりを進めてほしい。</p> <p>② 体育館において、例えばバドミントンの支柱を立てることができないなど、各校の工夫は限界に達していると思う。予算の関係があるのは理解するが、実態に目を向けてほしい。</p>
7. 高校の適正配置	<p>① 平成30年度から、帯広三条高校が1間口減となり、平成31年度には幕別高校が江陵高校と統合される。北海道教育推進計画では、平成33年から4年間で、2～3学級の調整が必要とされている。</p> <p>少子化により市内高校の間口が減る一方、十勝管内では定員に満たない学校も存在する。PTA連合会では、高校対策委員会を設置して市内PTAとの意見交換などの活動もしているので、こうしたことも知ってもらいたい。</p> <p>② 芽室高校や音更高校は、出願時に倍率が高いものの、私立高校への進学等により定員割れとなる。一方で、出願時の倍率から、自宅付近の両校や普通科への進学を諦める生徒もいる。</p> <p>この実態を救済するため、市は全体の状況から南商業高校のあり方を含めて検討し、北海道に意見してほしい。</p> <p>③ 長らく法律で1学級40名と定められているが、世界では1学級20～30名が標準的であるため、国等への要望を続けてほしい。</p> <p>また、北海道は検討過程を公表せず、出席しても意見交換にならない会議もあるため、情報提供など市から改善を求めてほしい。</p>
8. その他	<p>① 愛国小学校は小規模特認校として指定されているが、興味があっても送迎が難しく通学を断念している保護者がいる。愛国地区には家を建てるスペースがあるが、周知不足により移住に繋がっていない。市内最小の学校なので、廃校になることを危惧しており、例えば市営住宅の建設など、対策を検討してもらいたい。</p> <p>② 教育のICT化が進んでいるが、農村地域では光ファイバーの普及が進まず、提供されるWi-Fiも容量が不十分で、業務が繁忙となる月末はメールの送受信すらできない時がある。</p> <p>このままでは、市街地と農村地域に情報格差が生まれるので、環境整備をお願いしたい。</p> <p>③ 各要望には、予算が必要であると承知しているが、予算を理由に遠慮しては何も要望できない。全体予算を見ながら各要望について検討してもらいたい。</p>